



01

お客さまと共に創る未来

お客さまに 寄り添いながら・・・

当金庫は、これからも健全で強固な経営体力の堅持、お客さまの立場に寄り添ったサービス、業務の品質向上と人材の育成に努め、お客さまと地域の未来創りをサポートしてまいります。

個人のお客さまには、より一層安心してお取引いただけますよう、お客さまとお取引を護るための態勢の強化に取り組んでいます。

企業の皆さまには、創業から再生まで様々なライフステージに即したニーズに対して、コンサルティング機能の発揮によるお客さまとの対話や、外部ネットワークとの連携により、最適なソリューションの提供に努めています。

主な活動

第15回新現役交流会

新現役交流会は、専門的シニア人材と企業とのマッチングを図ることで、課題を解決し発展に結び付ける取組です。本年度は対面と Web を活用し開催しました。前回と同様に広域連携を図り、九州地方からは九州北部信用金庫協会を通じて、福岡ひびき信用金庫・大牟田柳川信用金庫（福岡県）、たちばな信用金庫（長崎県）、東北地方からは新庄信用金庫（山形県）、北陸からは興能信用金庫（石川県）、そして中国地方からは西中国信用金庫・東山口信用金庫・萩山口信用金庫（山口県）に参加いただき、合計 9 金庫での開催となりました。当金庫から 25 社、共催金庫から 22 社、合計 47 社がコロナ禍における自社の経営課題解決のため、101 名の新現役の方々と延べ 169 の面談を実施し、新現役の方々から熱い提案を受けました。



ご当地おみやげ取次プロジェクト



コロナ禍により巣籠りされておられるお客さまに「お楽しみ」をご提供することを目的に、信用金庫ならではの広域連携を活用し、信用金庫同士が、お互いにご当地ならではの商品を取り次ぐ「ご当地おみやげ取次プロジェクト」。本年度は山形県の新庄信用金庫、石川県の興能信用金庫、愛媛県の川の江信用金庫、千葉県の館山信用金庫と開催しました。地方の信用金庫のお取引先生産者からのフルーツ・お肉・お魚・カニ等は当金庫のお取引先に大変好評でした。また、地方の生産者からも感謝のお言葉をいただきました。

第7回かつしか創業塾



当金庫は、葛飾区が産業競争力強化法に基づき実施する特定創業支援等事業の連携事業者です。本年度も東京理科大学との共催で「第7回かつしか創業塾」を開催しました。葛飾区内で創業を目指す社会人や学生を対象とする全6日間5科目のカリキュラムです。創業を志す受講生の方々に毎回とても熱心にご参加いただきました。「かつしか創業塾」にご参加いただいた多数の卒業生が葛飾区で実際に創業を果たしています。

形がふぞろいなラ・フランスに対する取組み

当金庫は、山形県の新庄信用金庫との「ご当地おみやげ取次プロジェクト」でラ・フランスの取次を行った際に「市場に出荷されない形がふぞろいなラ・フランスが多く残ってしまう」との情報を入手しました。当金庫の取引先飲食店に紹介したところ関心を持っていただき取り次ぎましたと



ころ、2022年11月にはラ・フランスのジェラートやケーキが発売されるなど、活用が広がりました。食品ロス削減と地方農園支援につながったほか、取引先からも「質が良くて安い」と好評でした。

地元の伝統工芸を支援する取組み

2022年11月から当金庫の働きかけにより、創業250年の川魚料亭柴又「川千家」のロビーにおいて、葛飾区内で伝統技法を用いて製造している「菊和弘」の刃物の展示販売を開催しました。川千家を訪れた数多くのお客様が、重厚な存在感を放つ出刃や菜切などの包丁に見入り、購入されておりました。また、3月からは第二弾として同じく葛飾区伝統産業の江戸切子の展示販売を開催しました。



第3回「葛飾ものづくりフェアinアリオ亀有」

2023年3月11～12日の2日間にわたり、3年ぶりに開催いたしました。地元アリオ亀有にて葛飾区内の町工場や食品、伝統産業など「老舗からスタートアップまで」の12社が参加し、多数の来場者を集めました。



かめしんゴールドクラブ旅行

2022年11月8日～11日、15日～18日に千葉県南房総でみかん狩りなどの日帰り旅行を実施いたしました。総勢481名の参加をいただきました。



かめしんゴールドクラブ年金寄席

2022年6月15日に「かめありリリオホール」にて年金寄席を開催いたしました。総勢574名の参加をいただきました。



SDGs に対する取組み



2023年3月1日、当金庫は葛飾区と「SDGsの推進に関する協定」を締結しました。提携の目的は、区民の皆さまや区内の中小企業の皆さまにSDGsを知っていただき、その取組みを支援することです。

葛飾区は2020年2月に、2050年までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指すことを都内の区市町村で初めて宣言するなど、SDGsの取組みに力を入れています。葛飾区は当金庫を含め、区内に本支店を置く他の5つの金融機関と協定を締結しました。

当金庫は新規創業やビジネスマッチング、地域貢献活動などを通じた地域の活性化によってSDGsを推進しており、引き続きSDGsの取組みを広げてまいります。

観光活性化に対する取組み

当金庫は、信金中央金庫の地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」の申請に葛飾区と取り組み、「柴又観光・川甚跡地活性化事業」計画を立案、採択となり、2023年3月1日に葛飾区役所で信金中央金庫からの寄付金1千万円の贈呈式を行いました。

また、当金庫は、帝釈天参道を中心とした柴又地域文化的景観保存計画エリアの活性化のため、民間都市開発推進機構と「かめしんまちづくりファンド」を組成しました。川甚跡地の活性化事業と併せまして、文化的景観の保存や観光客増加にお役に立てるよう取り組んでまいります。

当金庫は、本店所在地である地元亀有に2024年度中に新設予定である「こち亀」をテーマにした亀有地域観光拠点施設整備に参画しております。今後も、葛飾区、商店街、自治町会と協働して地元亀有の観光まちづくりに努めてまいります。



金融リテラシー授業の実施



当金庫は、以前から職場見学の受け入れやお仕事探検隊の実施など、地域の金融リテラシー教育に力を入れてまいりましたが、2023年2月9日に当金庫としては初めての取組みとして亀有中学校の2年生を対象に金融リテラシー授業を証券会社と協力して実施いたしました。

お金の役割から家計管理、金融機関や証券会社の役割、株式会社の仕組みまで、家計と会社、政府の中でお金がどのように循環しているかなどを、小道具を使ったりクイズを交えながら進行了ました。生徒さんの反応も良く、金融について興味を持てた様子でした。

今後も様々な活動を通じて金融リテラシー教育の取組みを続けてまいります。